

※教員からのコメントを抜粋して掲載しています。

学部

展開教育科目（獣医学課程）

◆科目名：総合臨床学Ⅲ

教員名：松本 高太郎

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

総合臨床実習Ⅲと合わせて担当になっており、ガイダンスにはいるが、総合臨床学Ⅲの部分（講義）は行っていないため、以下の設問には答えることが出来ない。そのため、全て「行っていない」とした。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）
4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：総合臨床学Ⅲ

教員名：宮原 和郎

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

本科目は本年度で修了する。複数教員におけるオムニバス形式の講義形態を取っていることから、担当教員によって学生の興味および積極性が異なる。ただし、学生によってそれぞれ興味は異なり、評価も異なると理解している。いずれの講師も日本の獣医臨床において著名な講師であること

から、非常に興味深い話と理解しているが、学生にとってはやや専門性に特化した内容であることは否めない。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

担当講師の講義内容については、調整し、重複等を避けると共に、学生からのコメント・要望等についても連絡している。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

本年度で終了する科目である。

◆科目名：総合臨床学実習Ⅲ

教員名：富張 瑞樹

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

りさぶろう（手術予約方式）については今後、改善方法を考えていく予定です。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：総合臨床学実習Ⅲ

教員名：松本 高太郎

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

本実習は伴侶動物診療を行っている

教員 6 名で分担して行っており、内容としては、教員 1 名に学生が 2 名ついで診療の見学、手術見学、麻酔見学、仮想症例を用いたグループディスカッション、医療面接実習およびレポート提出がある。自分はこのうちの診療見学、レポート、および仮想症例の一部を担当した。

診療見学では、患者の状態や病気について学生への質問を行い、不明な部分は病院に置いている本で調べてもらっている。また、実習期間中に遭遇した症例についてのレポートを提出させ、評価している。

仮想症例では、5~6 人の学生を対象に、仮想症例について、実際の診療と同様の手順を進めてもらい、問診や検査の実施、その結果、診断、治療について議論させている。

約 60%が予習・復習に費やした時間が 30 分以下ということで、自分としては短いように思う。診療について予習するのは難しいと思うが、出会った症例・疾患についてもっと復習してもらうことが必要である。

「そうは思わない」と「全く思わない」の比率は高くないため、明らかに悪い点というのはないと考えられる。しかしながら、「どちらでもない」の割合は多く、この学生の理解度、実習に対する満足度を上げる必要がある。

複数の教員が関わっているため、改善策については、担当教員で議論する必要がある。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：総合臨床学実習Ⅲ

教員名：宮原 和郎

1. 授業担当回数：6 回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

総合臨床学実習Ⅲはいわゆる伴侶動物ポリクリである。あくまでも日常の臨床例を用いた教育・実習を少人数制で実施している。学生からは折角実習として参加しても、症例が少ない、実習中に詳細な説明がないなどのコメントが寄せられるが、日常的臨床例を教材として一般外来の飼い主が居る中での教育であることから、どうしても学生が見学だけになる部分がある。1 教員に 2 名の学生が付き、実習参加させているが、本学では勤務獣医師や研修獣医師数が圧倒的に少ないことも影響している。本科目名では本園^oが最後となるが、伴侶動物ポリクリとしては今後も名称変更して行われることから、改善を図りたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

伴侶動物ポリクリとして伴侶動物診療科教員 6 名で実施しているが、外来診療参加、手術見学、麻酔見学、症例検討レポート、チュートリアル等を各学生に課している。外来診療では常に症例がその時間にいるとは限らないことから、症例がない場合であっても課題に対して、学生が自分で勉強できる工夫が必要であり、このような

方策を教員間で統一しておく必要があると考える。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

前述の通り、この科目名では本年度で修了する。伴侶動物ポリクリとしては症例がない場合であっても、学生が自学自習できる体制を担当教員間で統一を取って、計画していきたい。

◆科目名：動物の福祉と倫理

教員名：石川 透

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

開講学年について考慮する必要があるのかもしれない。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特になし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

高学年の学生さん向けの内容について再検討する必要がある。

◆科目名：動物の福祉と倫理

教員名：川本 恵子

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

学生からのコメントにあるように開講時期については低学年（1年や2年）での

開講が理想だと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特にありません

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

今年度で終了のため該当しない

◆科目名：動物の福祉と倫理

教員名：宮原 和郎

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

国家試験対応科目として、開講に至った科目で有り、できる限り多方面の領域・職種から講師を招聘して、講義を組み立てた。複数教員からのオムニバス形式になるため、学生には重複する部分もあったものと思われる。学生のコメントとして6年生ではなく、もっと下の学年で開講すべき科目であるとのコメントはもっともで有り、本来獣医専門の初期段階で開講されるべき科目であるが、国家試験対応科目として受講していない学生に対して緊急避難的に開講された科目である。すでに獣医の高学年では常識的な部分もあったと思われるが、まとめの意味で知識の確認をしてほしい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

前年の各教員のハンドアウトを基に、重複部分については担当教員間で調整を図

った。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

本年度で修了する科目である。下の学年では動物福祉学、動物倫理学等の専門科目として開講されている。

展開教育科目（共同獣医学課程）

◆科目名：帯広基礎獣医学演習

教員名：石川 透

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

多くの学生が満足しているように思える。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特になし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

講義等の難易度の再検討、授業の選択方法に関して改善します。

◆科目名：農畜産演習

教員名：木田 克弥

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

搾乳実習を担当しています。

皆さん熱心に対応されています。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工

夫・改善した点等があればご記入ください）

コメントなし

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

コメントなし

◆科目名：細胞生理学・腎臓生理学

教員名：石川 透

1. 授業担当回数：8回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

難易度が高いと感じている学生さんがいるので、もう少しわかりやすい説明を工夫したい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

難易度が高いと感じている学生さんがいるので、もう少しわかりやすい説明を工夫したい。復習の重要性をさらに強調したい。

◆科目名：循環生理学・呼吸生理学・消化生理学・内分泌生理学

教員名：上川 昭博

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

獣医学に対する興味が増し、将来、動物の病気やその背景を理解する上で役立つ

ことを期待しています。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特にありません。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

特にありません。

◆科目名：循環生理学・呼吸生理学・消化生理学・内分泌生理学

教員名：石川 透

1. 授業担当回数：14回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

難易度が高いと感じている学生と非常にやさしいという学生がいるようである。対応は難しいが、できるだけそのような学生さんの人数が減るように工夫したいと考えている。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特になし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

難易度が非常に高いと感じている学生と非常にやさしいと感じている学生がいるようである。できるだけそのような学生さんの人数が少しでも減るように工夫したいと考えている。

◆科目名：生化学実習

教員名：西川 義文

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

生化学実習の授業評価アンケート結果を総合すると、8割以上の学生が十分に満足しており、1名があまり満足していないという結果であった。基本的には本科目の取組みには問題が無いと判断できるが、今後は授業内容についてどちらとも判定していない1割程度の学生と授業の満足度が低い学生をいかに引き上げるかが課題となる。積極的に質問を受け付ける、レポートにコメントを残す等して対応したい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

昨年度のアンケート結果により若干名の学生（1-2名）にとって難解な実習内容であったと思われたため、今年度は積極的に質問を受け付ける等して対応した。また、スライドでの説明が若干早いという指摘があったので、今年度は時間配分を考慮し、話す速度に配慮した。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

授業内容についてどちらとも判定していない1割程度の学生と授業の満足度が低い学生をいかに引き上げるかが課題となるため、積極的に質問を受け付ける、レポートにコメントを残す等して対応したい。

◆科目名：機能制御薬理学

教員名：石井 利明

1. 授業担当回数：14回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

ライセンス教育なので勉強量が多くても頑張って全てを修得して下さい。スライドの情報量(文字数を含め)は多く感じますがこれがライセンス教育の必要最低限とお考え下さい。プリントが見にくいのは申し訳ないです。カラーにすれば見易くなりますが高価で現在の授業運営費では無理です(大量なので生協に外注してます)。昨年からの授業運営費で要望申請していますので大学が認めてくれるとカラープリントをする予定です。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）
4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：薬理学実習

教員名：石井 利明

1. 授業担当回数：2回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

最初の実習で説明しているつもりです。次年度はより明確に評価基準を説明します。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）
4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記

入ください）

◆科目名：病理学各論実習

教員名：堀内 雅之

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

私が担当していた、病理解剖についてのコメントは特に見当たりませんでした。より良い実習となるよう使用する症例をより興味が持てるものとなるよう選びたいと考えている。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特になし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

病理解剖に使用する動物種の数を増やす。

◆科目名：細菌学

教員名：豊留 孝仁

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

授業内容を整理し、学習効果が高まるように改善を図る。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）
4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記

入ください)

今年度の授業資料を見直し、最新の情報を加えることにより改善を行う。

◆科目名：微生物学実習

教員名：豊留 孝仁

1. 授業担当回数：3回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

レポートのフィードバックにさらに注力する。また、実習当日に使用するスライド資料を事前に配付できるように努力する。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

実習室の安全キャビネットの導入により実習の効率化、待ち時間の短縮につながった。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

さらなる精査を行い、実習内容の改善を進める。

◆科目名：微生物学実習

教員名：奥村 香世

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

この実習が、多くの学生から概ね高い評価を受けたことをとても嬉しく思います。今回のアンケート結果を参考にしながら、今後もさらに充実した実習を提供できるよう努めます。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価

アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

昨年度と概ね同様に行った。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

これまでは vetportal において復習用資料の提供は行っていたが、今後は予習用資料も実習前に提供するように努める。

◆科目名：微生物学実習

教員名：今井 邦俊

1. 授業担当回数：5回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

特にない

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

実習に使用できる予算、備品の問題が大きいのが、なるべく多くの学生が実験操作に参加できるように工夫したい。また、いろいろな実践的な事柄を教えて行きたい。

◆科目名：微生物学実習

教員名：川本 恵子

1. 授業担当回数：6回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

レポートへのフィードバックについては、一層努力したいと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特になし

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

4コマ目からの開始では十分な実習ができないため、できれば午後1時からの開始時間にしてほしい。

◆科目名：伝染病学総論

教員名：川本 恵子

1. 授業担当回数：4回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

臨床症状や剖検画像などはPC上で拡大して詳細に確認できる方がより学習効果が高いと考え、電子ファイルをVetPortalにアップロードしていますが、印刷を希望する学生にも対応できるよう講義資料印刷予算など考えたいと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

疾病の理解を促すよう症状を示す動画などを講義に取り入れた。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

細菌学、人獣共通感染症などとの重複がないか確認する。VetPortalへのアップロードを講義の2週間前にする、など。

◆科目名：原虫病学・寄生虫病学実習

教員名：白藤 梨可

1. 授業担当回数：14回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

学生からのコメント「ダニ採取楽しかった。貴重な資料を自分の目で見ることで、大変良い経験になりました。」

自ら動いて学んでもらうことが大切だと考えていますので、マダニ採集を今後も実習に取り入れていきます。標本についても、さらに充実したものになるよう努めます。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：毒性学実習

教員名：川合 佑典

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

教員の話し方が聞き取りにくいという意見もあるので、今後話し方について改善していくようにします。班員の人数が多いと実験がやりにくいという指摘についても今後改善できないか検討します。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向

けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

班を増やして、班当たりの人数を減らすことができるか検討してみる。(実験で使用するマウスなどの数の関係があるので、予算との兼ね合いで検討する)

◆科目名：獣医公衆衛生学

教員名：廣井 豊子

1. 授業担当回数：7回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

(1) 対象学年も異なることから、獣医学課程の学生へと畜産科学課程の学生へは、それぞれ個別に開講する方法も今後考えていきたいと思います。(2) 間違いの指摘ありがとうございました。(牛疫として話していたつもりでしたが、間違っていたようです)

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

外部講師の際は、講義時間が予定を過ぎてしまうことがあった。前もって時間の厳守をお願いをしたり、終了時間が近づいたら講師に声をかけるようにした。(それでも時間超過したケースが出てしまった。)

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

外部講師の際の時間超過を改善したい。時間がわかるように教卓に小さな時計を置くようにする。また、あらかじめ講義時間の最後 5-10 分は質問時間として確保し、必ずその時間に終えるように進行を調整した

い。

◆科目名：獣医公衆衛生学実習

教員名：豊留 孝仁

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

講義と実習をうまくミックスさせたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

一部、実習作業のボリュームを増やした。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

実習内容をさらに充実させたい。

◆科目名：獣医公衆衛生学実習

教員名：廣井 豊子

1. 授業担当回数：10回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

(1) 獣医公衆衛生学と食品衛生学の混乱に関しては、両講義・実習を、同じ教員が、前期に同時進行で行う時間割を改善することで改善できるかと思う。旧カリキュラムのように、一方を前期に、もう一方を後期に開講するなどの対策を考えたい。

(2) 評価の配分は明記するようにします。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

い)

特にありません。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

来年度から急に時間割を大きく変えることはできないと思われるが、同じ教員が行っている他科目との混同を避けるような工夫をしたい。

◆科目名：食品衛生学

教員名：廣井 豊子

1. 授業担当回数：13回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

公衆衛生科目（獣医公衆衛生学と食品衛生学）の混乱に関しては、両講義・実習を、同じ教員が、前期に同時進行で行っている現行の時間割を改善することで改善できるかと思う。旧カリキュラムのように、一方を前期に、もう一方を後期に開講するなどの対策を考えたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特にありません。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

来年度から急に時間割を大きく変えることはできないと思われるが、同じ教員が行っている他科目との混同を避けるような工夫をしたい。

◆科目名：食肉衛生学実習

教員名：堀内 雅之

1. 授業担当回数：4回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

新しい実習なので、手探り状態で行っているが今回の反応をもとにより良い実習に深化させていきたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特になし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

複数の実習課題間の間のつながりをスムーズにする。

◆科目名：食肉衛生学実習

教員名：奥村 香世

1. 授業担当回数：3回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

今年度新たに開講された実習でしたが、学生の評価も概ね良好で安心いたしました。来年度以降も、このアンケート結果を参考にさらに魅力ある実習を提供できるよう、他の先生方と連携して実習内容の改善に努めます。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

今年度新規開講の科目のため、該当しない。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向

けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

集中講義であったため、学生は1週間に多くの多様な作業を行い、内容を学習し、理解する必要があった。学生達は興味を持って課題に取り組んでくれたが、学生への負担が大きかったように思った。

◆科目名：食肉衛生学実習

教員名：村西 由紀

1. 授業担当回数：2回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

獣医5年生の実習のため、実技によってわかりやすく伝えられたようだと、アンケート結果より感じました。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

今年度が初回のため、なし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

来年度は、学生たちの興味あるいは疑問について答える時間を設けたいです。

◆科目名：食肉衛生学実習

教員名：川本 恵子

1. 授業担当回数：4回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

多岐にわたる知識が要求される実習で体力も必要とされますが、多くの学生が積極的に実習に参加していたと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価

アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

今年度からの開講科目のため該当ありません

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

開講時期が2週にわたり続くので、学生も教員も負担は大きいように感じました。大学からの実習費用の配分決定をもう少し早めにしていただくと助かります（予算によっては実習内容の見直しが必要となるので）。

◆科目名：応用外科学

教員名：富張 瑞樹

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

オムニバス形式の内容については、北大とのすりあわせを含めて今後検討していく必要があると思っています。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

◆科目名：食品栄養学

教員名：福島 道広

1. 授業担当回数：7回

2. 結果に対するコメントと学生へのフ

フィードバック

獣医学の学生のため、食品栄養学に興味のない意見がよく見られる。また、4年生への授業なので、彼らはより専門的な獣医学授業を履修したいのでは。北海道大学の学生にも提供しているが、北大にも食品栄養学は農学部で行っており、多地点授業に対する不満も見られ、工夫して欲しい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

授業で使うスライドの見直しを行い、より見やすく工夫した。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

多地点の授業なので、問いかけや小テストなど畜大の学生には容易にできるが、北大生には難しい。また獣医学の学生のため、食品栄養学に興味のない意見がよく見られる。北海道大学の学生にも提供しているが、北大にも食品栄養学は農学部で行っており、多地点授業に対する不満も見られ、工夫して欲しい。

◆科目名：草地飼料学

教員名：花田 正明

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

飼料と家畜の健康などとの関連に関する話題を増やすなどしてできるだけ獣医学の学生にも授業に対する関心を高めてもらうような配慮をする。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価

アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

授業実施1週間前に講義で使用するパワーポイントのファイルおよび講義資料をポータルサイトを通じて配布した。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

「試験が簡単すぎだと思った。すべて網羅して勉強したので悔しさが残った。」という回答があった反面、不合格者が5名でしまったので、飼料と家畜の健康などとの関連に関する話題を増やすなどしてできるだけ獣医学の学生にも授業に対する関心を高めてもらうような配慮が必要であると感じた

◆科目名：コミュニケーション論演習

教員名：川本 恵子

1. 授業担当回数：6回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

評価方法について：科目全体に関してはシラバスに記載されている通りです。模擬医療面接の評価については、講義でも説明しましたが、配布資料に記載されたポイント（服装、挨拶、自己紹介、オープン%クローズドクエスション、バーバル&ノンバーバルコミュニケーションなどなど）に従い、クライアント役とのやりとりの流れの中できちんとできているかどうかで評価しています。また演習の中でクラスメイトがお互い評価者になり模擬医療面接終了後にコメントを述べますが、その内容も自分の医療面接に対する評価として今後の参考

にしてください。その他、気になる場合はメール等でいつでも遠慮なく問い合わせてください。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

H28より開講の科目のため該当なし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

現在の開講時期は5年前期であるが、vetOSCEの受験前に単位が出せるよう、4年次に開講する方が望ましい。模擬医療面接で評価者になれる教員を増やし、より円滑に講義が出来るようにしたい。